

# 夢追い人



本社外観



筑後店



諸富店

# 時代に合わせ 革新し続けて百十八年

株式会社 浅川家具

代表取締役社長 浅川 純哉 さん

## 百十八年の歴史と時代に 合わせた変化

浅川家具は、今年で創業百十八年。大川でも珍しい百年以上続く企業のひとつです。

「初代が1899年に大川・榎津で事業を始めて、私で七代目社長となります。今は家具販売を主に行っていますが、箱物を作る製造業がスタートでした」

現在は家具販売をメインにビジネスを展開されている浅川家具。大川はもちろん中国、タイなど海外の家具を日本全国に販売しています。また筑後市（家具の大使館心）と佐賀市諸富町（リビングサロン）という店舗運営も行っており、近年はネットショップも展開されているとのことでした。

「時代が移り変わるにつれて、お客様のニーズも多様化していきます。やはり企業永続のためには、会社も変わり続けなければなりません。浅川家具も時代の流れを汲み取りながら、製造業から卸売業や小売業、そしてネット販売と、三業態でお客様のニーズに対応しています。また自社商品を開発するにしても、他社と同じような商品を作っているだけでは、価格競争することになります。やはりオリジナリティのある商品の開発、提案をやっていかないとダメですね。完全には出来ていませんが、環境の変化への対応とお客様第一が基本にないといけないと思います」

浅川家具の強みとはなんですか。







店内の様子

「卸部―小売部―ネット通販―商品開発との部門があり、自社店舗での販売状況、商品情報を活用して卸部の得意先へのリテールサポートに繋げることが出来ます。その逆もあり得意先の良い販促策を小売店舗に適用できます。また、その声を生かして新商品開発も行えます。四部門のサイクルを回し多様化するニーズ（カラーセレクトション、イージーオーダー等）に即応できることですかね。それと産地大川の地の利もあります。商品開発等にもメーカー様、取引先様との長年のお付き合いによる協力頂ける信頼関係があることも強みでしょうか」

### 共に革新していく

時代に合わせた革新を行っている浅川家具。数年前に



ヒット商品のリクライニングソファ

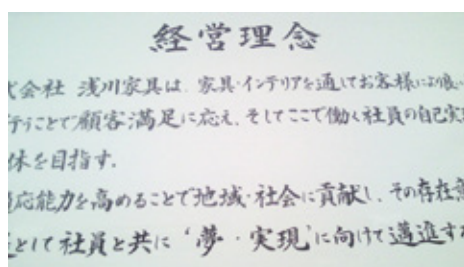
「もうワンランク・アップしたい」ということで商工会議所を通して『経営革新』を取得されています。『会議所での説明会を受けて、その必要性を感じ、『経営革新』を取得しました。また昨年は『革新的なものづくり補助金』も活用させて頂き、社内販売管理システムの一元化を構築して、経営の効率化とサービス向上に努めています。



昭和6年当時初荷の写真

「もちろん経営管理など社長主導で行わないといけないところもありますが、実働部分においては現場目線が必要となりますので、「企業は人なり」社員の意識・能力向上のため、社員と一緒に受講することもあります。企業単位ではなかなか実施出来ないセミナーなどに参加すると普段は話せないようないろんな業種の経営者とも話せます。そのなかで自分達の足りない部分に気付くこともありですね。それから受け終わって気づいたことを計画に落とし、どれだけ実行に移せるかが大事です。学んだという満足感で

どちらも今までやってきたことの見直しや振り返り、今後どういった風に会社を進めていくべきかという観点から鑑みて実施に踏み切りました」



昭和初期本店感謝大売出し(上)、経営理念(下)

「社歴の長い社員も多いですが、ベテランが定年を迎える前に、次の人達にノウハウを受け継ぐため、数年前から新卒の採用を行っています。家具が好き、インテリアコーディネイトをやってみたい、こんなものを作ってみたいって気持ちがある方を採用し続けていきたいです」



浅川家具の社員の皆様

最後に浅川さんの夢に

「縁ある人々の物心両面の幸せですね。社員の皆さんであったり、お客様であったり、家族であったり。経営理念の実現のために、会社としては、大川の家具産業をもっともつと、日本全国のみならず、たくさんの人に伝えていかねばならないと思っています。会社が次の百年に繋がるように地域社会に貢献していくことが必要です。また社員の皆さんにも会社を通して、自分たちの夢の自己実現を達成してもらいたいですね。大川家具四百年と会社の百十八年の歴史の重みを感じながら、次の世代に大川の家具、そして全体的にお客様に「より良い住空間の提案」のお手伝いをさせて頂ける浅川家具として発展させて継承していきたいです」

### 次の世代へ繋ぐ